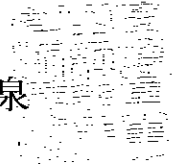


門発 第8-287号

平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

門川町長 曾川 泉



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたします。

(文書取扱：門川町環境建設課)

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路整備に対する要望は、都市部と地方部では観点の違いから大きな隔たりがあるが、地方部に重点を置いた道路政策を以下の3点のとおり要望したい。

①救急医療体制の向上、災害時の孤立化防止、危機管理やライフラインとしての重要性をもつ「命の道路」としての高速道路の早期整備

②費用対効果(B/C)の算出の際、地方にあった算出方法の見直しをすべきである。

③1.5車線道等の地域にあった道路構造令の緩和及びガイドライン化

○現状

道路網の整備の遅れにより産業の発展が阻害されている。

○課題

当地域は東九州地区の拠点となる様々な資源を有するが東九州自動車道をはじめとする高速道路やそのアクセス道路などの整備が遅れているため、その有効な資源の活用が図られていない。

高速道路網整備の遅れにより企業立地が進まない。

20万人余の人口を有する圏域の労働力などが活かされていない。

農林漁業等の豊富な資源が活かされていない。

②-2 地域の目指すべき将来像

- 東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線の完成することによって循環型高速交通ネットワークが構成され、且つ重要港湾の細島港との更なるアクセスにより、企業の立地環境が大幅に改善され本町を中心とした県北一帯の活性化が期待できる。
- 更に県北の延岡・門川・日向を基幹都市圏都市高速交通網により、熊本市や大分市、宮崎市が1時間で結ばれる形となり、圏域周辺町村を含め安心してゆとりある基礎生活圏の形成ができる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

宮崎県門川町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	九州横断自動車道延岡線の早期完成	南九州における循環型高速交通ネットワークが完成され、企業立地が見込まれる。また、豊富な観光資源も生かされる。それにより遅れている宮崎県北の地域力が増進され九州の一体的発展につながる	
・延岡南道路の無料化	西日本高速道路(株)と国交省及び都道府県において、災害時等の国道10号代替道路と国道10号渋滞対策	現在、大雨時において幹線国道の冠水や、崩壊が見受けられ、交通機能がマヒする状況が多々見受けられる。延岡南道路の開放により、緊急時の地域の安全性向上が図られる。 また、国道10号の慢性的渋滞の解消により産業発展と生活の利便性が高まる。	